



商 工 会 報

あ ち

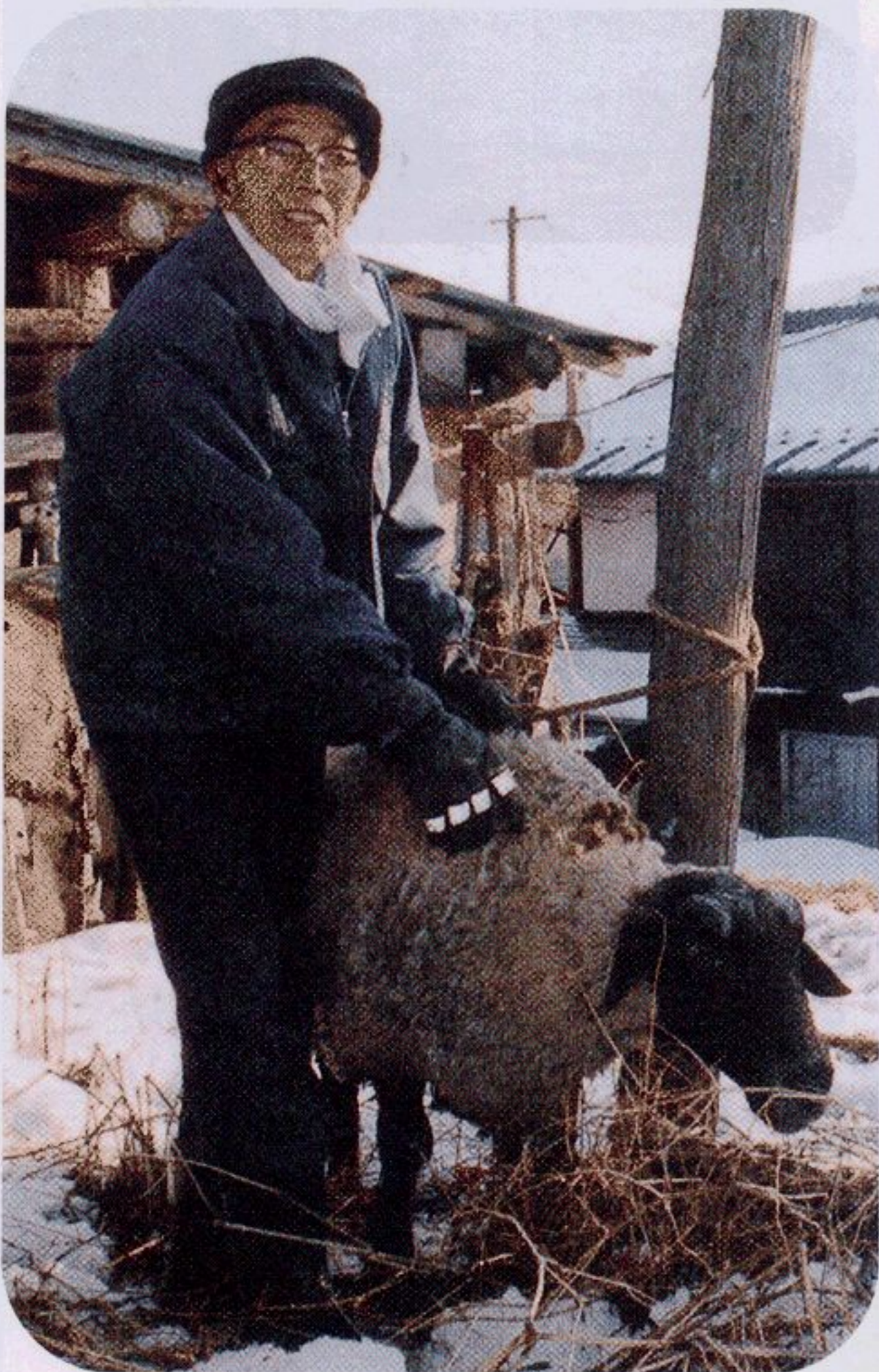
第 56 号

発行 阿智村商工会
電話0265-43-2241

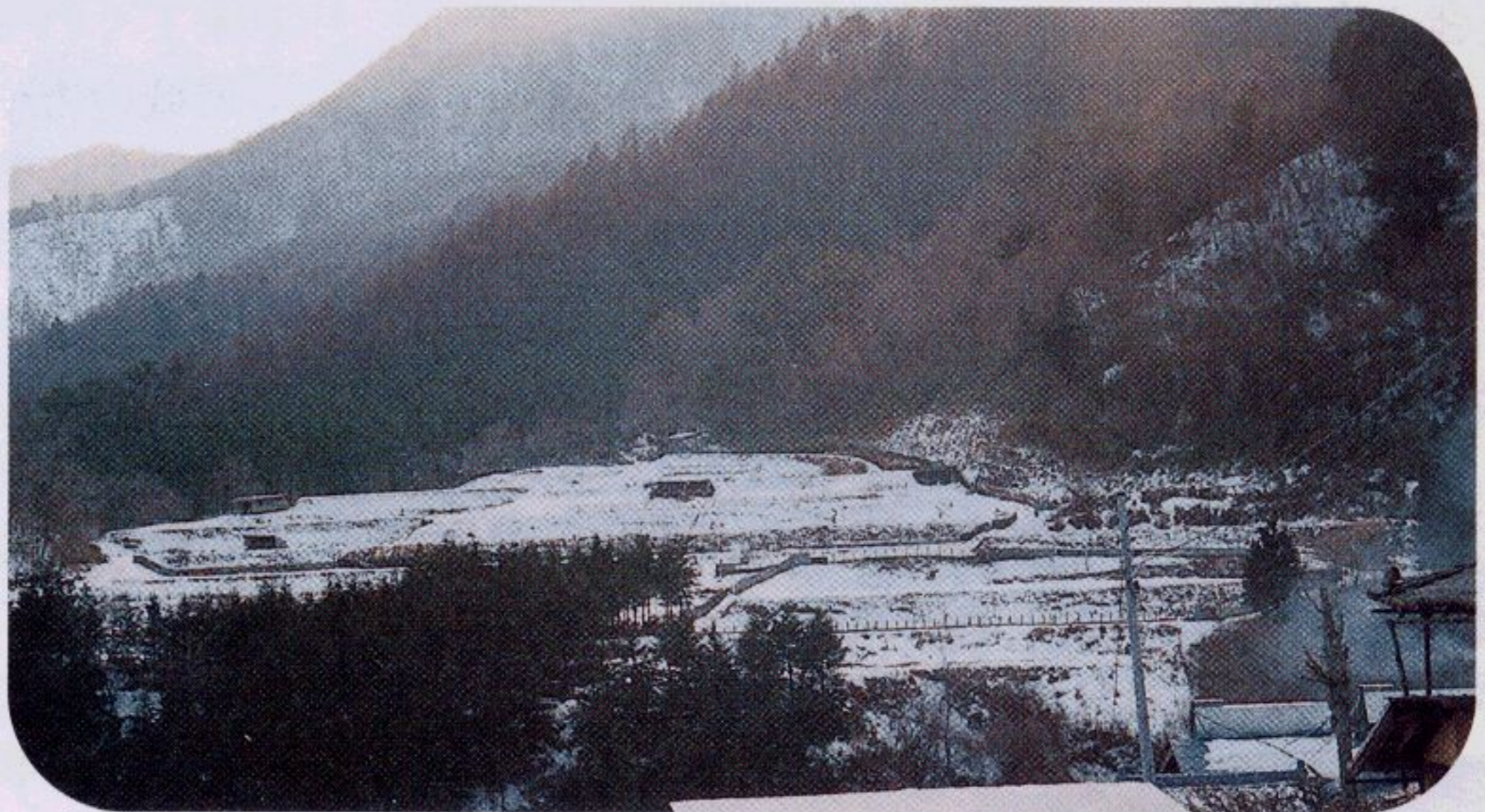
編集 会報編集委員会
印刷 龍共印刷(株)



3頭仲良く並んで



遠山勝さんに良くついています



5月の連休明け頃には
ここで羊の姿が見られます

家畜化されて永い歴史を持つめん羊は、人々にとって衣食住に深く関わりを持つてきた動物で、目的に応じて様々に改良され、千種以上の品種が作り出されました。

以前、企業探訪でも紹介したことがあります。村内で羊を飼育している(有)ぐるめ横川の里の遠山勝さんを訪ね、写真を撮らせていただきました。

この羊は、頭と足の黒い肉用種サフォークです。現在の雌が四頭飼われています。今の季節は、村内の豆腐店からおからを分けてもらい、えさにしています。5月の連休明け頃には、対岸へ放牧します。春が待ち遠しいのは、私達人間も、羊も同じかもしれせん。

導 指
テ カル
No.15

ガラス管の中身

経営指導員 竹村正之

最近会員の皆様と研修に出かけ、県精密工業試験場、駒ヶ根商工会議所などを視察致しました。その後の反省会で今までで一番良い研修会だったと言われ、この人の為に役立つ立ちたい気持ちがありました。この方は相当人徳を磨かれた方だと思えます。これが人使用の原点ではないでしょうか。ところで、以前ある経営者から、部品を入れたガラス管を真空ポンプで二十四時間以上試みても、期待するほど真空中に近くならず良い検査結果にならない。試作品を作って

は京都まで性能テストに行く繰り返しですが、かれこれ三年以上も続いていると言うので、早速今回訪問した精密工業試験場へ一緒に出かけた事がありません。

試験場では電気やガスの専門研究員がいて、まずガラス管にガスを充填し、ガスを抜く方法を進められました。ガスの成分が判っているから、ガラス管にガスが残っているも、わけの判らない空気が残っているより明確な検査結果になる事は、素人の私でも容易に予想出来ました。

その後、経営者から開発がスムーズに進んだお礼の電話をいただいたが、京都に足を運んだ歳月が大変残念がついていました。

試験場を利用することも、時には考えていただきたいと思えます。

経 済
講 演 会

商売は本音で

阿智村商工会恒例の新春経済講演会が、一月二十二日、商工会館で開催されました。今回は、リサイクルショップ(株)生活創庫社長の堀之内九一郎氏を迎え、「ビジネス成功への近道ー資金ゼロから日本一のリサイクルショップへ」をテーマに、講演していただきました。テレビ番組「マネーの虎」に出演、活躍さ

れていることもあり、村外からの聴講者も多勢ありました。「商売には、本音で物事を見たり、人と接することが大切」と、自分の体験談を交えての講演に、熱心に聞き入っていました。



講師の堀之内九一郎氏

企業探訪

No.48

理容マツシマ

代表者 松島悦夫

創業 昭和43年11月

営業時間 午前8時～午後7時

定休日 毎週月曜日・第1火曜日・第3日曜日

松島家三姉妹の長女に育まれた奥さんの貞子さんは、これからは女性も手に職をと親のすすめもあり、名古屋の専門学校で理容師の資格をとりました。その後すぐに現在の場所へお店をオープンさせました。20歳の時でした。「当時、若い女性の理容師はめず



らしく、興味本意もあつてか、おおぜいのお客さんが来てくれて、地域の方や、同級生に支えられてやってきました」と貞子さん。

御主人の悦夫さんに苦労話をお聞きしたところ、「仕事の面では、ただガムシャラに2人でがんばってきたので、そんなに大変だったことはなかった。おかげ様に、後継者もできたし。それより子育ての方が、子供の面倒をあまりみてやれなかったのが、かわいそうだったなあ」と。今では、三女の三恵さんが名古屋出身の俊一さんと結婚。松島家の“職人”も4人になりました。

もともとスポーツ万能の悦夫さんと貞子さん。今は、お客さんにすすめられ、10年ほど前に始めたゴルフを2人で楽しんでいるそうです。「お客さんとコミュニケーションをとりながら気楽に来てもらって、喜んで帰ってもらえるよう心がけています」と、取材当日も終始、お客さんと会話がはずんでいた悦夫さんでした。



シリーズ

我が家の秘蔵写真

大前商店
大前りゑ子さん 所蔵

第34回



◀ S38年頃 店先で元史郎さん、弟さんと一緒に

▲ねじりはちまきがトレードマークだった廣四郎さん S27年頃



駒場伝馬町の大前りゑ子さんと、当時から向かいに住んでいた片桐美治さんにお話を伺いました。

先代の大前廣四郎さんは、岐阜県高山市の出身で、飯田市銀座（今のキング堂さんの辺り）の商店で一番番頭でした。昭和二十二年の飯田市の大火で焼け出され、奥さんの実家阿智村に戻って行商を始めました。昭和三十二年、今の場所に店を構えました。腕のいい板前だった廣四郎さん。当時結婚式は一般家庭で行うことが多く、料理人として、自分の包丁を持って出かけて行くことがよくあったそうです。今は、発泡スチロールやプラスチックトレイを使いますが、その頃は魚は木箱に直に氷と一緒に入っていました。今のようないい冷蔵庫のない時代で、朝仕入れた魚はその日の内に売り切ってしまうようにと一生懸命でした。

後を継いだ元史郎さん（りゑ子さんの夫）も、毎日バイクで注文取りに歩いたそうです。また、商工会の青年部（当時は商工青年と言ったそうです）では一緒に活動した片桐さん。元史郎さんの活躍した話を、なつかしうに語ってくれました。

信金だより

日頃からしんきんの事業にご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。

この頃は、日に日に厳しい寒さも和らぎ、春の到来を感じられますが、私達を取りまく経済状況は以前と比べて厳しいままです。そのような時代であるからこそ、しんきんは地域金融機関としての使命を果たすため、更なる努力と工夫を重ねてまいります。

さて、しんきんでは二月より新商品の取扱いを開始しました。この時期にピッタリの商品ですのでご案内いたします。

△しんきん教育ローン▽

「当座貸越型」

- ・ 在学期間中は限度額内で何度も出し入れが出来ます。
- ・ 当座貸越期間中は利息のみのお支払いで、終了後証書貸付に切り替わります。

他にも各種ローンを取り扱っております。お気軽にしんきんまでお尋ね下さい。

融資制度資金のご案内

15年度から県の中小企業融資制度資金が次のように変更になります。

- ・中小企業事業資金
金利 1.8~2.4 %
- ・経営健全化支援資金
" 1.8 %
- ・創業支援資金
" 2.0 %
- ・新事業活性資金
" 2.0 %

又、信用保証協会の保証料も改正され、保証料の一部をご負担いただくようになります。

村の制度資金については、引き続き村の支援が継続されますのでお知らせ致します。

自動車税の納税は とても便利な 口座振替をどうぞ!



自動車税は、毎年4月1日現在に自動車所有又は使用されている方に課税されます。自動車税の法廷納期限は、毎年5月31日です。

口座振替は『安心』『確実』『便利』です。納税のために、わざわざ金融機関又は郵便局並びに地方事務所の窓口まで足を運ぶ必要がありません。

手続きは簡単です。地方事務所又は金融機関に用意してあります口座振替届出書に記入捺印されて窓口にお届けください。

詳しくは、下伊那地方事務所税務課までお問い合わせください。

(個人事業税も口座振替制度があります。)

住所: 飯田市追手町2丁目678

TEL: 0265(53)0405

Eメール: shimochi-zeimu@pref.nagano.jp

女性部だより

事業に参加し自己研鑽を 宮嶋 光子

今年の「便利大学」は、去年好評だった「クリスマスアレンジ花」の講習を受けました。多数の方が参加され、二回目の方もあり、色々なアレンジ花ができました。家に持ち帰り玄門に飾り、毎日眺めていました。自分の出来映えに顔もほころび、とても心豊かな気持ちになりました。



出来上がった作品を前に

た。今年も阿智村が当番で、昼神温泉グランドホテル天心で行いました。講師に、阿智村社会福祉協議会地域福祉係長の山田初美さんを迎え、「優しい介護」というテーマで研修を受けました。「こんねんなつちやつの」と介護を受ける人に向けてはいい心。深い人間愛こそが「福祉の心」の出発点。昔の辛かった事、たとえば意地悪されたりおこられたりした事を忘れて介護をする。私に出来るかなあと思

一月二十九日には、下條村商工会女性部との合同研修会が開催されました。

いながら、歌あり、ダンスあり、お話しありの講演を、楽しく受けることができました。その後

交流会を行い、両商工会女性部の活動の報告がされました。そして、お待ちかねの大宴会が開かれ、踊り、寸劇等楽しい時間を過ごしました。



講演に聞き入る部員

二月十一日には、商工会女性部下伊那支部研修会、交流会が開催され、出席させていただきました。講師のナビック・ジャパン(株)代表取締役大蔵正明氏から、「事業所の経営を支える女性の役割について」のお話しを聞きました。今の若い社員は、会社の事を勉強してない。勉強する場所もない。そんな事では、会社は伸びて行かない。社員の質を上げて、ヤル気を引き出すには、誰でも一つは良い所があるので、それを見つけて誉める。声をかけて誉める。感謝する。そして感動を与える。私自身こんな事をしてもうたら、一生懸命会社のためにヤル気が起きますね、きつと。又、5S-整理・整頓・清掃・清潔・躰について、会社の中、お店の中で行動を起せば、明るく気持ちのいい職場になり、道が開かれて行くのではと。私も肝に銘じて、少しでも近づきたいと思いました。

終了後、蘭ミュージアムの見学、湯ヶ洞での交流会と大変充実した時を過ごすことができました。

編集後記

本年は、癸未年(みずのひつじとし)である。日本と違い、世界の羊は、あらゆる自然環境に耐え、どこにいてもたくましく行動している動物とのことです。横川で羊を飼っている遠山さんに、取材に伺いました。忘れていた呼び方「綿羊(めんよう)」のお話です。毛を刈り、毛糸によるカシミアの衣服の暖かさ、又、食肉用の丸型鍋の焼肉は焼酎(30度シヨウチュウ)の友達。三十年前を思い出しました。

占いによると、本年の経済情勢は、労すれば功の得られる時が後半にありとのこと。新年度総会が、五月十六日に開催されます。本年は役員改選です。昨年十一月、県小規模企業支援のあり方検討委員会が田中知事に報告書を提出され、新年度予算では、商工団体への補助金が大幅に削減されます。今までより商工行政が大きく転換されます。我々弱者の切り捨てにならないよう、新体制の選出を願いたいものです。

会報編集委員会